

目指す姿および成果指標の新旧一覧表

資料 1 - 2

			前期基本計画	後期基本計画（案）		目指す姿の説明
1.みんなが活躍し、個性輝くまち	1.保育・幼児教育	目指す姿	子どもが自分の個性や能力を伸ばし、夢と希望を描いています。	目指す姿	幼児期のこどもたちが楽しそうに活動する姿を見られるように、必要なサービス等が整っています。	評価を具体的にしやすいよう、行政としてどこまで整備が行えたかを測れるようにするため。
		指標	幼少期の子どもの笑顔が輝き、のびのびと育っていると感じる市民の割合	指標	幼児期のこどもたちの笑顔が輝き、のびのびと育てられるように必要なサービス等が整っていると感じる市民の割合	
	2.学校教育	目指す姿	子どもが確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身をバランス良く身につけています。	目指す姿	子どもたちが「将来につながる力」を身につけています。	21世紀の社会は知識基盤社会であり、その認識は今後も継承される。しかし、情報化やグローバル化が急速に進み、社会の変化は加速度的かつ複雑で予測困難になっている。これにより、職業や人生の選択にかかわらず、すべての子どもたちの生き方に影響を与えている。だからこそ、子どもたちは変化を前向きに受け止め、人間ならではの感性を生かして社会や人生を豊かにすることが期待される。受け身ではなく主体的に関わり合い、可能性を発揮しながら、よりよい社会と幸福な人生を創る力を身につけることが重要であるため。
		指標	市内の小中学生が活発だと感じる市民の割合	指標	市内の小中学生が主体的に学び、未来を切り開く力を育んでいると感じる市民の割合	
	3.子育て・子育て	目指す姿	子育て世代が安心して出産や子育てをすることができ、いきいきと輝いています。	目指す姿	子育て世代が安心して出産や子育てをすることができています。	子育て世代が安心できる環境を整えることが、保護者も子どももいきいきと輝き、笑顔と未来をはぐくむことができるまちへとつながるため。
		指標	出産・子育ての悩みや不安を相談できる環境があると感じる市民の割合	指標	出産・子育ての悩みや不安を相談でき、支援してくれる環境があると感じる市民の割合	
	4.生涯学習・社会教育	目指す姿	市民がいつでもどこでも学びたいことを学ぶことができ、学習の成果を活かしながら生きがいのある人生を過ごしています。	目指す姿	市民がいつでも学ぶことができ、生きがいのある人生を過ごしています。	楽しく学ぶことが生きがいにつながるため。
		指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	指標	生涯学習に取り組んでいると感じる市民の割合	
	5.科学・文化芸術	目指す姿	科学や文化芸術に親しむ機会が多くあり、市民が豊かな知性と心を育んでいます。	目指す姿	市民が文化や芸術、科学への学びの関心を高め、知的豊かさを育み実感しています。	現状から浮かび上がる課題（施設の維持管理及び所蔵資料の更新、市民活動の促進及びそのための情報発信にかかるもの）に対応することで市民サービスの質の向上を図り、それによって市民の学びへの関心及び知的満足を高めることを目指すため。
		指標	科学・文化芸術に親しんでいる市民の割合	指標	文化や芸術、科学への学びの関心を持つ市民の割合	
	6.スポーツ	目指す姿	市民が様々なかたちでスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らしています。	目指す姿	市民がさまざまなかたちでスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らしています。	こどもから高齢者、障がいのある人もない人も、生涯にわたりスポーツ活動に親しみ、豊かなスポーツライフを送ることは、健康で豊かに暮らしていく上で大きな意義があるため。
		指標	日常的にスポーツに親しんでいる市民の割合	指標	日常的にスポーツに親しんでいる市民の割合	
2.みんなが健やかに、支えあって暮らせるまち	7.健康・医療	目指す姿	市民が健康的な生活習慣を身に着け、自発的に健康づくりに取り組んでいます。	目指す姿	自発的に健康づくりに取り組んでいます。	個人の行動が身体的・精神的健康状態を改善する事に寄与すると考えるため。
		指標	日常的に健康づくりに関心を寄せていると回答した市民の割合	指標	①健康づくりに取り組んでいる市民の割合 ②生活習慣の改善に取り組んでいる市民の割合	
	8.地域福祉	目指す姿	地域のだれもが主体となって支え合いながら、健やかに安心して心豊かに暮らしています。	目指す姿	市民が主体となって地域や社会の中で支えあい、健やかに安心して心豊かに暮らせるよう、地域や社会が支えあえる環境を整えます。	地域でのつながりが希薄化している現在において、福祉を進めるうえで、市民と行政が協力しながら、地域で支えあう仕組みを構築する必要性が重要であると考えため。
		指標	身近に支え合える環境があると感じる市民の割合	指標	地域や社会に支えあえる環境があると感じる市民の割合	
	9.高齢福祉	目指す姿	いざというときの安心感があり、高齢者が住み慣れた地域で、心豊かな生活をしています。	目指す姿	住み慣れた地域で高齢者が生きがいをもって健やかに暮らすために、高齢者の社会参加支援を強化します。	高齢者、個人個人の生きがいを支援していくため。
		指標	市内の高齢者は元気だと感じる市民の割合	指標	①市内の高齢者は元気だと感じる市民の割合 ②市内の高齢者は活動できる場所が多いと感じる市民の割合	

			前期基本計画	後期基本計画（案）		目指す姿の説明
2.みんなが健やかに、支えあって暮らせるまち	10.障がい福祉	目指す姿	障がいのある人も無い人も、だれもがお互いに尊重し支えあいながら、いきいきと暮らしています。	目指す姿	障がいのある人もない人も、誰もがお互いに尊重し支えあいながら、いきいきと暮らすために支援体制を確保します。	障害者基本法では「全ての国民が、障害の有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり、全ての国民が、障害の有無によつて分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とする」と規定されている。 また、障害者総合支援法では「障害者及び障害児が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付、地域生活支援事業その他の支援を総合的に行う」旨の規定もあり、榎原市障がい者福祉基本計画では従前から上述の基本理念を継承し、障がい者施策の取組を推進しながら、障がいのない人についても理解を深めていくことが重要と考えているため。
		指標	障がいのある人が日常生活を送るための環境が整っていると感じる市民の割合	指標	障がいのある人が日常生活を送るための環境が整っていると感じる市民の割合	
	11.市民協働	目指す姿	それぞれの役割と責任のもと、市民が自らの意思で地域の活動に主体的に参加・参画し、まちづくりを行っています。	目指す姿	市民が自らの意思と責任のもと地域の活動に参加することを目指します。	市民が多様な組み合わせによって協働することで、さらなる相乗効果が生まれ、主体的な協働のまちづくりの充実を目指すため。
		指標	地域の活動に、積極的に参加している市民の割合	指標	地域の活動に、積極的に参加している市民の割合	
	12.人権	目指す姿	すべての人の人権が尊重される差別のない社会を築く意識を市民の誰もが持っています。	目指す姿	すべての人の人権が尊重される差別のない社会を築く意識を市民の誰もが持っています。	榎原市人権擁護に関する条例第1条「市民一人ひとりの参加による差別のない榎原市の実現に寄与することを目的とする」及び第3条「市民は、相互に基本的人権を尊重し、人権意識の高揚を図るよう努めるものとする」を簡潔に表し、その目標を目指すため。
		指標	身近なところで人権問題が発生していると感じる市民の割合	指標	身近なところで人権問題が発生していると感じる市民の割合	
3.みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち	13.防災	目指す姿	市民、地域、行政が本市の災害リスクを知り、それぞれの立場で生命・身体・財産を守る備えができています。	目指す姿	市民が本市の災害リスクを知り、命を守る体制を支援します。	自身の生命の確保が防災で最も重要であるため。
		指標	住んでいる場所の災害リスクを知り、備えができている市民の割合	指標	防災マップで地域の危険箇所や避難方法を把握している市民の割合	
	14.防犯	目指す姿	市民が防犯意識・消費者意識を自ら高め、安全で安心な日常生活を送っています。	目指す姿	犯罪が起こりにくい、安全・安心なまちづくりの実現とともに、市民が安心して生活を送れる社会を目指す。	詐欺被害額が増加している社会情勢の中、安全・安心なまちづくりを目指すため。
		指標	日頃から防犯や消費者問題に関心を寄せている市民の割合	指標	犯罪が起こりにくくなっていると感じている市民の割合	
	15.交通	目指す姿	自分に合った手段で、だれもが快適に市内を移動することができます。	目指す姿	自分に合った交通手段で、誰もが快適に市内を移動することができます。	年齢や生活エリアなどによって、その人自身のニーズに合致する交通手段は様々である。それぞれの人が自分のニーズに合致した交通手段で移動できる状態が、快適に生活できる状態と考えるため。
		指標	市内を快適に移動することができていると感じる市民の割合	指標	自分に合った交通手段で、市内を快適に移動することができていると感じる市民の割合	
	16.道路・橋梁・河川	目指す姿	安全な道路環境が整っており、だれもが安心して通行しています。	目指す姿	生活道路が安全に整備されており、誰もが安心して通行しています。	生活道路は幹線道路と異なり、地域に密着した生活環境の一部であり、限られた財源で地域のニーズに対応し効果的な生活道路整備を継続的に進めていく必要があるため。
		指標	安全な道路環境が整っていると感じる市民の割合	指標	生活道路が適切に維持管理できていると感じる市民の割合。	
	17.住環境・建築	目指す姿	多様なニーズに応えられる住宅が供給され、市民が良好な住環境で暮らしています。	目指す姿	住環境について心配なことがあったとき、相談できる窓口を知っています。	市民が災害に強く安全で良好な住環境で暮らすことを目指すため、7年という計画期間で実現しうる姿を設定した。
		指標	安全な居住環境で生活できていると感じる市民の割合	指標	住環境について心配なことがあったとき、相談できる窓口を知っている市民の割合。	

			前期基本計画	後期基本計画（案）		目指す姿の説明
3.みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち	18.地球環境	目指す姿	市民が環境保全と資源循環に高く関心を持ち、環境負荷の少ない持続可能な社会を築いています。	目指す姿	持続可能な社会の実現に向けて、みんなが環境を守る行動をしています。	地球環境が指す範囲は非常に広く、市役所業務においては取り組める部分も限られてくる。重要なのは継続的な発展に必要なレベルで自然環境が維持されることである。そのため、「持続可能な社会の実現」を盛り込み、それに向けた多様な取り組みが行われている状態を目指す姿としたため。
		指標	日頃から環境に配慮した行動を取っている市民の割合	指標	日頃から環境に配慮した行動を取っている市民の割合。	
	19.生活環境	目指す姿	市民が、良好な生活環境で暮らすことができます。	目指す姿	良好な生活環境で市民が暮らすことができるよう、まちの衛生が保たれています。	生活環境が指す範囲は非常に広く、厳密に捉えると、ほぼすべての施策分野が含まれてしまう。ここでは、市域内の公衆衛生に関して、環境部の取組を整理している。そこで、「良好な生活環境」を目指して、公衆衛生の向上に向けた各種取組を行うといった形に変更したため。
		指標	良好な生活環境で暮らすことができていると感じる市民の割合	指標	衛生的に暮らすことができていると感じる市民の割合	
	20.上下水道	目指す姿	安全な水道水の供給と適切な污水处理により、市民が衛生的で健康的な生活を送っています。	目指す姿	適切な污水处理により、市民が衛生的な生活を送っています。	適切な污水处理が住民の健康と生活環境に直結するため。また上水道は令和7年4月より奈良県広域水道企業団となるため、下水道の施策であることを明確にしたため。
		指標	安心して水道を利用できていると感じる人の割合	指標	安心して公共下水道を利用できていると感じる市民の割合	
4.みんなが活力と魅力を生み、賑わい溢れるまち	21.公園・緑地	目指す姿	市民の参加により公園・緑地などの身近な潤い空間が管理され、誰もが憩いの場として快適に利用できています。	目指す姿	市民の参加により公園・緑地などの身近な潤い空間が管理され、誰もが憩いの場として快適に利用できています。	公園は生活の中で身近にある存在であり、その公園が安全で快適に利用できていることが重要であるため。
		指標	市内に憩いの場として利用できる公園・緑地があると感じる市民の割合	指標	市内に憩いの場として利用できる公園・緑地があると感じる市民の割合	
	22.まちづくり・景観	目指す姿	近代的な都市機能と、歴史的景観が共存しており、市民がそれを橿原市の魅力として感じています。	目指す姿	近代的な都市機能と、歴史的景観が共存しており、市民がそれを橿原市の魅力と感じています。	橿原市都市計画マスタープランに記載のとおり、奈良県の中心都市としてふさわしい便利で快適なまちづくりを推進するとともに、歴史文化遺産や自然景観などの地域資源と質の高い都市機能を備えた市街地が共存することを目指しているため。
		指標	快適性・利便性・安全性と歴史ある景観が共存していると感じる市民の割合	指標	快適性・利便性・安全性と歴史ある景観が共存していると感じる市民の割合	
	23.歴史・文化財	目指す姿	市民が橿原市の歴史と文化財に誇りと愛着を持ち、その心を次世代へ引き継いでいます。	目指す姿	市民が文化財との触れ合いを通じて、文化財の価値を理解し、橿原市の歴史に誇りと愛着を持っています。	橿原市には、「日本国はじまりの地 橿原」のキャッチフレーズにもなっている藤原宮跡をはじめ、全国一の伝統的な建造物を有する今井町の歴史的町並みなど、日本の歴史を語る上で欠かせない貴重な文化財が今も多く残っている。これらの文化財は他の地域にはない橿原市の宝であり、文化財を保存し継承していくことが“橿原らしさ”を受け継いでいくことにつながる。文化財を守っていくには、市民が文化財を大切なものと感じる必要がある。これからも文化財を活用した様々なイベントを開催し、市民が文化財と触れ合う機会を通じて、文化財の価値を理解し、橿原市の歴史に誇りと愛着を持てる姿を目指すため。
		指標	橿原市の歴史と文化財に誇りと愛着を持つ市民の割合	指標	橿原市の歴史と文化財に誇りと愛着を持つ市民の割合	
	24.観光・交流	目指す姿	市民が橿原市の魅力や新たな価値を積極的に発信し、中南和地域の観光・交流の拠点としてまちに多くの人が訪れています。	目指す姿	地域とともに橿原市の魅力をPRすることで、中南和地域の観光・交流の拠点としてまちに多くの人が訪れています。	市民や訪れた方等の自主的な発信へのしかけや、誘客につながるような市のプロモーションを強化していくことで、観光・交流、関係人口、移住を増やし、中南和地域のにぎわいの拠点としていくため。
		指標	橿原市の魅力や価値を他の誰かに伝えることができる市民の割合	指標	①市のプロモーションが上手く伝わっていると感じる市民の割合 ②訪問客が多く訪れていると感じる市民の割合	
	25.商工業・しごと	目指す姿	新たな産業を生み出す環境が整い、地域経済の循環を市民がまちの賑わいとして実感しています。	目指す姿	起業や事業拡大により市内商工業が発展するとともに、働きやすい職場環境が整備され、多様な人材が活躍しています。	①企業立地、起業者増加 ②既存事業者の安定的な経営 ③多様な人材の活躍 上記①～③を目指す姿として明確にするため。
		指標	経済が循環し、まちが賑わっていると感じる市民の割合	指標	商業施設が立地し、日常生活に必要な物品の調達やサービスが充足できると感じている市民の割合	

			前期基本計画	後期基本計画（案）		目指す姿の説明
4.みんなが活力と魅力を生み、賑わい溢れるまち	26.農業	目指す姿	持続的で魅力のある農業が行われ、市民が地元の農産物に愛着を持っています。	目指す姿	環境にやさしい農業が営まれ、市民が食と農に関心をもっています。	昨今、栄養バランスのとれた食生活や食品の安全性など、食への健康志向が高まっています。農業生産の方法として、化学肥料の低減や自然堆肥への転換、農薬の不使用など、環境への負荷低減が図られることにより、食と食料を供給する農業に関心をもってもらえる人を増やすため。
		指標	地元の農産物に愛着を持つ市民の割合	指標	地元の農産物を積極的に取り入れたいと感じる市民の割合	
5.市民とともに「かしはら」をつくる信頼の行政運営	27.行政運営	目指す姿	市民とともに「かしはら」をつくる信頼の行政運営	目指す姿	持続可能な行政運営のための基盤が整っています。	行政運営を持続可能なものとしていくために、健全な財政運営と「共創」する人材の育成・確保、デジタル化の推進を目指すため。
		指標	市民目線でしっかりした行政運営がなされていると感じる市民の割合	指標	持続可能な行政運営の基盤が整っていると感じる市民の割合	